

令和 2 年 7 月 9 日現在

機関番号：62608

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16K02411

研究課題名(和文) 19世紀初頭・長編小説生成期における構成・素材・記述に関する総合的研究

研究課題名(英文) Forms of Novel in early 19th century: composition, description and materials

研究代表者

木越 俊介 (Kigoshi, Shunsuke)

国文学研究資料館・研究部・准教授

研究者番号：80360056

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：「読本」に分類される小説には、ジャンルとして成立するに足る共通の規範があるのだが、本研究ではこの規範が成立する過程そのものを解明するため、後期読本の起源にさかのぼり、ジャンル形成過程における諸相の総合的把握を目的としたものである。その具体的な成果として、享和元年(1801)を起点に7年分の全ての読本作品について、総説ならびに解題を作成した。

享和期の作品群は統一性が見出しにくく、多様であることが理解された。同時に、山東京伝と曲亭馬琴が突出して方法的な自覚をともない作品執筆を行っていることをはじめ、各作品の解題作成という地道な研究があったことその総合的な見解が得られたと自負している。

研究成果の学術的意義や社会的意義

19世紀日本に花開いた後期読本は、日本の文学史上、はじめて長編構成を有した本格的な小説群である。これらの作品は数が多いこともありなかなか全貌がつかみきれないが、本研究はその一作一作に解題を付すことによって、読本を研究する者をはじめ、読本が影響を受けた実録体小説、演劇(歌舞伎、浄瑠璃)の研究者にも参照可能とした。

さらに、各作品の翻刻情報なども付加し、興味を持った人にテキストへのアクセスが容易になるよう配慮した。

研究成果の概要(英文)：Later Yomihon (tales of the fantastic) in 19th century has a common norm as a genre. In this study, to clarify the process by which these norms are established, we trace the origins of Later Yomihon. The purpose is to comprehensively understand various aspects in the genre formation process. As a concrete result of this, we have created a review and an abstract for all works between 1801 and 1807.

It was understood that the works of the Kyowa period(1801-1804) were diverse and difficult to find uniformity. At the same time, I am proud that Santo Kyoden and Kyokutei Bakin are prominently writing works with a methodological awareness, and that they have obtained a comprehensive view only through steady research such as creating an abstract for each working.

研究分野：江戸時代の小説

キーワード：読本 山東京伝 曲亭馬琴 実録 白話小説 十返舎一九 小枝繁 歌舞伎・浄瑠璃

1. 研究開始当初の背景

読本というジャンルについての総合的な研究は、横山邦治『読本の研究』(風間書房、1974)が先駆であり、かつ今日に至るまでの礎を築いた。さらに読本の様式的把握を網羅的に目指した研究とその成果として、大高洋司を研究代表者とした、科研費・基盤(B)「近世後期江戸・上方小説における相互交流の研究」(2005年度～2008年度)ならびに『読本事典』(笠間書院、2008)があげられるが、応募者も当該プロジェクトに参加し多くの示唆を得、これと平行して自身も読本とその周辺に関する研究を継続してきた。その後、このプロジェクトに集った研究者がさらに視野を広げるべく、田中則雄を研究代表者とし、科研費・基盤(C)「文政期読本の基礎的研究」(2012年度～2015年度)がはじまり、『文政期読本解題』として結実した。本研究代表者はもちろん、分担研究者の多くがこの研究にチームの一員として携わっているが、その過程で参加者が一様に、いま一度読本の起源に遡り検討する必要に迫られた。というのも、既に「読本」というジャンルが定着した文政年間(1818～1830)に生み出された作品群にはいずれも、明らかに作り手たちの頭の中に「読本」として成立するに足る共通の規範のようなものがあることが認められ、それを解明しないことには、ジャンルそのものの特色を把握することには至らないと気付かされたからである。ただし、ここで言う規範とは必ずしもマニュアル化されたものではなく、彼らが経験則として得たものであったと思われる。そしておそらく、ジャンルの発生期にはある程度の揺れがあったはずであり、試行錯誤の上、統合や淘汰を繰り返しながら、規範として共有されたものと推測される。「読本」という器は、そこに様々な素材を盛りつけることができるが、単に素材を投げ込めばいいわけではなく、盛りつけ方(構成)や味付け(記述)など、各作者において様々な腕の見せ所があり、そこにこそ各作品の差違が顕れるわけである。

2. 研究の目的

江戸時代、19世紀以降に多くの作品が産み出された「(後期)読本」と呼ばれるジャンルは、中世の軍記などと異なり史実からは距離を置き、相当な度合いで編集・加工が加わった人工的な創作物と理解することができる。こうしたことを可能にしたのも、「読本」という器が堅固なものとして用意されていたからこそである。そこで本研究では「読本」に共通して見られる方法論の起源、そうした器がいつ頃定型化し、構成と記述の上でどのような手法が編み出されていったのかを明らかにしたい。具体的な研究方法としては、「読本」をあえてメカニカルなものとして対象化し、一度徹底的に作品を諸要素に分解した上で、改めて一つ一つの要素がいかに有機的につながっているのかを検証する。分析対象としては、享和元年(1801)、つまり19世紀のはじまりを起点とし、以降7年分について時間軸に従って追いつながりながら、全ての読本作品を漏れなく精査する。本研究課題は、改めて後期読本発生期に焦点を絞って研究を継続・発展させ、ジャンル形成過程における諸相の総合的把握を目的とする。具体的には、享和年間および文化元～4年の間に刊行された読本全作品につき解題を作成し、それをテーマごとに区分した上で、この時期の読本作品群の傾向や特色を把握する。なお、この解題は、『読本事典』(笠間書院、2008)における研究成果を発展させ、さらに総合化することを目指している。これと平行して、研究発表やディスカッションを行うことで、単なるデータの集積のみにとどまらず、史的展開の有機的把握を目指した研究成果を生み出すことを目指す。

3. 研究の方法

享和元年(1801)以降に刊行された読本について、一点一点作品を精査し、順に解題化していく。4年間で100点強を目指す。これを刊行年で区切ると、文化4年(1807)刊の作品までを網羅することになる。文化5年に読本の刊行点数がピークを迎え、様式的にもほぼ完成を見るに至ることからも、本研究において、揺籃期である享和元年から文化4年までの全読本作品を対象とすることは、研究内容から見て妥当であると考えられる。また、その過程で、適宜、演劇・実録・奇談・軍記など、素材との比較を行いつつ、構成ならびに記述についての検討を重点的に行う。そして、個別の作品を詳細に分析した上で、各研究者自身の研究実績を背景に、この時期において、各読本作品の有する構成・素材・記述のあり方にどのようなパターンが存し、それが全体の中いかにマッピングされるのかを究明する。

4. 研究成果

原則、毎年度2回の研究会を行い、相互に知見を深めた。それらを総合化し、報告書として『享和・文化初期読本の基礎的研究』を作成した。総説部分は、享和元～文化四年刊読本概観(藤沢毅)、初期長編読本(木越俊介)、上方の奇談もの読本(天野聡一)、享和・文化期の読本と歴史素材(藤川玲満)、実録と享和・文化期の読本(絵本もの全盛期)(菊池庸介)、文化初年における読本と演劇(大屋多詠子)、中国小説(白話系)からの影響(三宅宏幸)、十返舎一九の読本著述(中尾和昇)、小枝繁の読本と「歴史」(田中則雄)、馬琴初期読本と『著作堂旧作略自評摘要』(菱岡憲司)以上のテーマについて記した。これにより、本研究の総括を行うことができた。また、これまで作成した各作品の解題83点をブラッシュ

ユアアップし掲載、さらに「享和・文化初期読本書名索引」、「享和・文化初期読本年表」も付した。

享和期の作品群は統一性が見出しにくく、多様であることが理解された。同時に、山東京伝と曲亭馬琴が突出して方法論的な自覚をともない作品執筆を行っていることをはじめ、各作品の解題作成という地道な研究があつてこそその総合的な見解が得られた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計37件（うち査読付論文 13件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 6件）

1. 著者名 中尾和昇	4. 巻 10
2. 論文標題 京伝・馬琴の合巻制作 『八重霞かしくの仇討』と『十三鐘孝子續』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 読本研究新集	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中尾和昇	4. 巻 47
2. 論文標題 『千葉館世継雑談』 翻刻と解題（上）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 奈良大学紀要	6. 最初と最後の頁 263-280
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 天野聡一	4. 巻 7
2. 論文標題 和文小説 の展開	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本文学研究ジャーナル	6. 最初と最後の頁 33-48
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 天野聡一	4. 巻 10
2. 論文標題 和文小説 研究史概観	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 読本研究新集	6. 最初と最後の頁 67-84
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菱岡憲司	4. 巻 7
2. 論文標題 馬琴評答集の再検討	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本文学研究ジャーナル	6. 最初と最後の頁 91-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤沢毅	4. 巻 10
2. 論文標題 『小夜衛真砂物語』論	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 読本研究新集	6. 最初と最後の頁 135-150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤沢毅	4. 巻 21
2. 論文標題 翻刻『龍神笛邑雨記』	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 鯉城往来	6. 最初と最後の頁 126-164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤沢毅	4. 巻 18
2. 論文標題 翻刻『[後藤基次] 豪傑功名記』(三)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 尾道市立大学芸術文化学部紀要	6. 最初と最後の頁 87-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://dx.doi.org/10.18899/gei.18	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三宅宏幸	4. 巻 10
2. 論文標題 宮本武蔵もの 実録の展開 『兵法修練談』『武道小倉袴』『袖錦岸柳島』系統を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 読本研究新集	6. 最初と最後の頁 151-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三宅宏幸	4. 巻 7
2. 論文標題 曲亭馬琴と木村黙老の関係	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本文学研究ジャーナル	6. 最初と最後の頁 105-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三宅宏幸	4. 巻 67
2. 論文標題 木村黙老の書籍目録(二) 多和文庫蔵「高松家老臣木村亘所蔵書籍目録残欠」(下)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 説林	6. 最初と最後の頁 57-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三宅宏幸	4. 巻 10
2. 論文標題 木村黙老の書籍目録(三) 宮内庁書陵部図書寮文庫蔵「讃藩黙老木村氏蔵書目録」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 愛知県立大学日本文化学部論集	6. 最初と最後の頁 55-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三宅宏幸	4. 巻 2018
2. 論文標題 馬場家蔵『宮本無三四一代記』下巻の表紙	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 馬場家研究報告	6. 最初と最後の頁 5-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤川玲満	4. 巻 109
2. 論文標題 秋里離島作「図会もの」読本考	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 近世文藝	6. 最初と最後の頁 11-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木越俊介	4. 巻 7
2. 論文標題 寛政・享和期における知と奇の位相－諸国奇談と戯作の虚実－	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本文学研究ジャーナル	6. 最初と最後の頁 49-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中則雄	4. 巻 7
2. 論文標題 文化期大坂の作者五島清道の読本	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本文学研究ジャーナル	6. 最初と最後の頁 78-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三宅宏幸	4. 巻 66
2. 論文標題 木村黙老の蔵書目録(一) 多和文庫蔵『高松家老臣木村巨所蔵書籍目録残欠』上	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 説林	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中尾和昇	4. 巻 46
2. 論文標題 『縁結文定紋』 解題と翻刻 (下)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 奈良大学紀要	6. 最初と最後の頁 268-239
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤沢毅	4. 巻 9
2. 論文標題 『女熊阪臚夜草紙』論 岩井半四郎演じる小蝶	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 読本研究新集	6. 最初と最後の頁 45-61
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤沢毅	4. 巻 212
2. 論文標題 加藤清正 関ヶ原不参加は家康の謀略によるものか?	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アジア遊学(関ヶ原はいかに語られたか いくさをめぐる記憶と言説)	6. 最初と最後の頁 155-166
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤沢毅	4. 巻 20
2. 論文標題 明治期出版の『曾我物語』(一) 活字本	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 鯉城往来	6. 最初と最後の頁 30-47
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤沢毅	4. 巻 17
2. 論文標題 翻刻『[後藤基次]豪傑功名記』(二)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 尾道市立大学芸術文化学部紀要	6. 最初と最後の頁 23-44
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 菊池庸介	4. 巻 66-9
2. 論文標題 『中山深秘録』を読む 定信嫌いの、池田治政	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本文学	6. 最初と最後の頁 64-67
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 菊池庸介	4. 巻 212
2. 論文標題 黒田長政: 説得役、交渉役として	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アジア遊学(関ヶ原はいかに語られたか いくさをめぐる記憶と言説)	6. 最初と最後の頁 118-130
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大屋多詠子	4. 巻 48
2. 論文標題 馬琴と忠臣蔵	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 青山語文	6. 最初と最後の頁 34-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木越俊介	4. 巻 44
2. 論文標題 (翻刻) 松井羅洲『真実玉英(まことのはえ)』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国文学研究資料館紀要 文学研究篇	6. 最初と最後の頁 31-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田中則雄	4. 巻 9
2. 論文標題 実録「伯州米子の城下敵討の事」について	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 山陰研究	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 藤沢毅	4. 巻 8
2. 論文標題 『俊傑神稲水滸伝』における悪 君、君たらざれば	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 読本研究新集	6. 最初と最後の頁 53-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤沢毅	4. 巻 19
2. 論文標題 『[後藤基次]豪傑功名記』論(一) 別所家の滅亡譚	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 鯉城往来	6. 最初と最後の頁 19-42
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三宅宏幸	4. 巻 65
2. 論文標題 好華堂野亭の戦記 図会もの と通俗軍談	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 説林	6. 最初と最後の頁 81-101
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三宅宏幸	4. 巻 8
2. 論文標題 宮本武蔵もの 実録の系統分類	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 愛知県立大学日本文化学部論	6. 最初と最後の頁 109-134
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) info:doi/10.15088/00002928	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 天野聡一	4. 巻 51
2. 論文標題 「吉備津の釜」考 再会場面の磯良	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 国文論叢	6. 最初と最後の頁 50-61
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 天野聡一	4. 巻 8
2. 論文標題 芍薬亭長根『国字鶴物語』考 文体分析を中心に	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 読本研究新集	6. 最初と最後の頁 89-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中尾和昇	4. 巻 8
2. 論文標題 馬琴小説と「転生」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 読本研究新集	6. 最初と最後の頁 104-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中尾和昇	4. 巻 66・1
2. 論文標題 名所図会の古典利用	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本文学	6. 最初と最後の頁 94-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤沢毅	4. 巻 16
2. 論文標題 翻刻『[後藤基次]豪傑功名記』(一)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 尾道市立大学芸術文化学部紀要	6. 最初と最後の頁 23-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中尾和昇	4. 巻 45
2. 論文標題 曲亭馬琴『縁結文定紋』 解題と翻刻 (上)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 奈良大学紀要	6. 最初と最後の頁 240-217
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計3件 (うち招待講演 1件 / うち国際学会 1件)

1. 発表者名 藤川玲満
2. 発表標題 秋里籬島による「図会もの」読本の形成とその周辺
3. 学会等名 日本近世文学学会平成30年度春季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中尾和昇
2. 発表標題 『敵討義女英』典拠小考
3. 学会等名 日本文学協会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池庸介
2. 発表標題 写本文化と近世実録
3. 学会等名 明星大学人文学部日本文化学科国際シンポジウム「写本がひらく江戸へのトビラ」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計10件

1. 著者名 天野 聡一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 笠間書院	5. 総ページ数 404
3. 書名 近世和文小説の研究	

1. 著者名 飯倉洋一、盛田帝子、海野圭介、久保田啓一、菊池庸介他全19名、菊池は15番目	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 408
3. 書名 文化史のなかの光格天皇	

1. 著者名 大屋 多詠子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 花鳥社	5. 総ページ数 720
3. 書名 馬琴と演劇	

1. 著者名 藤沢毅・橋原彩	4. 発行年 2019年
2. 出版社 翻刻「[念仏塚/高砂松] 則定仁勇伝」	5. 総ページ数 113
3. 書名 尾道市立大学	

1. 著者名 木越治、勝又基、木越俊介ほか、全26名	4. 発行年 2018年
2. 出版社 国書刊行会	5. 総ページ数 488
3. 書名 怪異を読む・書く	

1. 著者名 藤沢毅 尾道市立大学近世文学原典講読ゼミ	4. 発行年 2017年
2. 出版社 尾道市立大学	5. 総ページ数 76
3. 書名 翻刻「月花惟孝」	

1. 著者名 藤沢毅 尾道市立大学近世文学原典講読ゼミ	4. 発行年 2018年
2. 出版社 尾道市立大学	5. 総ページ数 113
3. 書名 翻刻「斯波遠説七長臣」	

1. 著者名 藤沢毅、村上幸代	4. 発行年 2017年
2. 出版社 尾道市立大学	5. 総ページ数 167
3. 書名 翻刻「小夜衛真砂物語」	

1. 著者名 青木敦, 武内信一, 狩野良規, 渡辺節夫, 佐伯真一, 大屋多詠子, 岩田みゆき, 秋山伸子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 慶応義塾大学出版会株式会社	5. 総ページ数 272 (157 - 188)
3. 書名 世界史のなかの近世	

1. 著者名 鈴木健一, 天野聡一ほか全19名	4. 発行年 2016年
2. 出版社 三弥井書店	5. 総ページ数 314 (200-216)
3. 書名 海の文学史	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	田中 則雄 (Tanaka Norio) (00252891)	島根大学・学術研究院人文社会科学系・教授 (15201)	
研究分担者	中尾 和昇 (Nakao Kazunori) (00743741)	奈良大学・文学部・講師 (34603)	
研究分担者	菱岡 憲司 (Hishioka Kenji) (10548720)	山口県立大学・国際文化学部・准教授 (25502)	

6. 研究組織 (つづき)

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	藤沢 毅 (Fujisawa Takeshi) (20289268)	尾道市立大学・芸術文化学部・教授 (25405)	
研究分担者	藤川 玲満 (Fujikawa Reman) (20509674)	お茶の水女子大学・基幹研究院・講師 (12611)	
研究分担者	菊池 庸介 (Kikuchi Yosuke) (30515838)	福岡教育大学・教育学部・教授 (17101)	
研究分担者	大屋 多詠子 (Oya Taeko) (50451779)	青山学院大学・文学部・教授 (32601)	
研究分担者	天野 聡一 (Amano Soichi) (50596418)	九州産業大学・国際文化学部・准教授 (37102)	
研究分担者	三宅 宏幸 (Miyake Hiroyuki) (90636086)	愛知県立大学・日本文化学部・准教授 (23901)	